

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

1 工場概要

- ▶ 住所 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7-6-1
- ▶ 従業員数 285名（平成25年4月時点）
- ▶ 敷地面積 61,292m²



2 事業概要

▶ 主要製品

塩ビ管

一般、HI、SGR-NA、SRA、SRB、耐熱、電線、三層、二管路、農水圧力、下水、カラー



SGR継手・ゲートバルブ



カラーパイプ、継手

塩ビ継手

TS、HI、DV、VUDV、耐熱、リブ、透明、カラー、SGRハイゲートバルブ



HI継手



耐熱継手

3 工場変遷

- | | |
|-------------|--|
| 昭和42年（1967） | 久保田鉄工(株) 小田原工場完成
ケーブル保護用塩ビ管生産開始 |
| 昭和53年（1978） | SGR-NA管生産開始 |
| 昭和56年（1981） | ポリブデン管生産開始
松田出荷センター完成 |
| 昭和58年（1983） | ガス用ポリエチレン管の生産開始 |
| 平成元年（1989） | PM優秀事業場賞受賞 |
| 平成10年（1998） | ISO9001認証取得 |
| 平成11年（1999） | SGR-NAVH管の生産開始 |
| 平成12年（2000） | ISO14001認証取得 |
| 平成13年（2001） | リサイクル三層発泡管の生産開始 |
| 平成14年（2002） | リサイクル三層管(ソリッド三層管)の生産開始
小田原西配送センター完成 |
| 平成17年（2005） | クボタシーアイ(株)設立（※） |
| 平成18年（2006） | 生産供給体制の一層の最適化を目指し、ポリブデン管
ガス用ポリエチレン管の生産拠点変更を実施 |
| 平成21年（2009） | 生産拠点再編により、耐熱パイプ・継手、TS・HI継手、
ハイゲートバルブの生産開始 |

※ (株)クボタ 合成管事業部とシーアイ化成(株) 管工機材事業部の事業統合によるもの。

4 環境方針

▶ ISO環境方針

クボタシーアイ株式会社 及び 株式会社九州クボタ化成は、合成樹脂を原料として、社会生活に必要な水道管、下水道管などのライフラインを社会に提供しています。その活動において、地球環境の保全が人類全体の課題であり、企業にとってその対応が重要な責務である事を認識し、環境保全に不断の努力を行います。

【 理 念 】

私たちは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現をめざし、地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行います。

【 方 針 】

1. 製品の設計・開発、製造から出荷までの各段階において、環境保全に積極的に取り組みます。また、環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善する事によって、長期的で幅広い観点から環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 社会の持続的な発展に寄与できる製品の開発ならびに製造を推進します。
3. 環境関連法、条例、協定及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
4. この環境方針を実践するため、環境保全中期実施計画達成に向けて、その実施状況を定期的に確認し、環境マネジメントプログラム計画の見直しを行います。
5. この環境方針を、当社で働く人 及び 当社の為に働く人に周知させると共に、各人が日常生活においても環境に配慮した行動を行うよう、環境意識の向上に努めます。
6. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。またこの環境方針は、私たちの姿勢を理解していただくため、一般の人も入手可能とします。

平成23年4月22日

クボタシーアイ株式会社
製造部門 担当役員

山本 芳樹

▶ ISO認証取得状況

- 平成12年1月19日 (2000) ISO14001認証取得(審査機関:日本科学技術連盟)
- 平成15年1月19日 (2003) 第1回更新取得
- 平成18年1月19日 (2006) 第2回更新取得
- 平成20年8月28日 (2008) 第3回更新取得
- 平成23年2月22日 (2011) 組織統合審査 兼 拡大審査合格
(統合:小田原、栃木、堺、九州クボタ化成)
- 平成24年3月27日 (2012) 第4回更新取得

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2012年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO ₂ の削減	CO ₂ 排出原単位 (T/億円)	2008	▲10%	+2.9%	×	生産拠点再編により、エネルギー消費が多い製品比率が増加。又、生産量が大幅に増加。
		CO ₂ 排出量 (T)	2008	▲10%	+32.2%	×	
循環型社会の形成	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位 (T/億円)	2008	▲8%	▲ 23.1%	◎	-
	ゼロ・エミッション	埋立比率	-	0.5%以下	0.16%	◎	-
	水資源の節約	水使用量原単位 (m ³ /億円)	2008	▲4%	▲ 55.8%	◎	-
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位 (Kg/億円)	2008	▲8%	▲ 29.1%	◎	-

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 ×:目標未達成

注)環境保全中期計画のCO₂排出量実績値の算定の際は、2008年度のCO₂排出係数を使用しています。

(電気の排出係数:0.000425t-CO₂/kwh)

環境 TOPICS

- 1) 排水経路の端末にPH計、油膜検知装置を設置して、運用開始しました。(平成24年4月)
- 2) 神奈川県地球温暖化対策推進条例に基づく、排出状況報告書を提出しました。(平成24年7月)
- 3) 最終放流口に自動ゲートバルブを設置して運用開始しました。(平成25年2月)
- 4) ISO14001: 組織統合化後のサーバランスを受け、継続合格しました。(平成25年2月)
- 5) 平成25年クボタグループ環境功績賞を製造課保全職場で受賞しました。(平成25年6月)
(テーマ:コンプレッサー水使用量の削減)
- 6) 地域の美化活動に継続的に参加しています。
『クリーンさかわ』(平成25年5月19日)、工場周辺ボランティア清掃活動(平成25年6月27日)

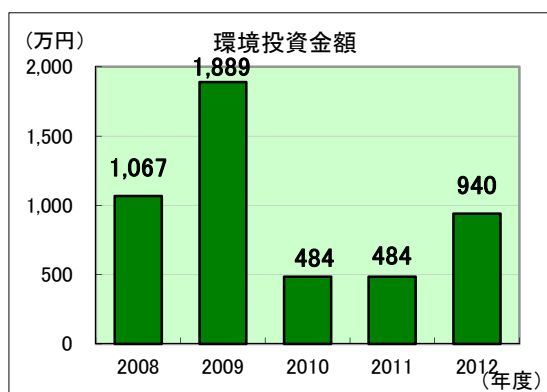
クボタシーアイ株式会社 小田原工場

6 環境会計

① 環境投資

2012年度： 940 万円

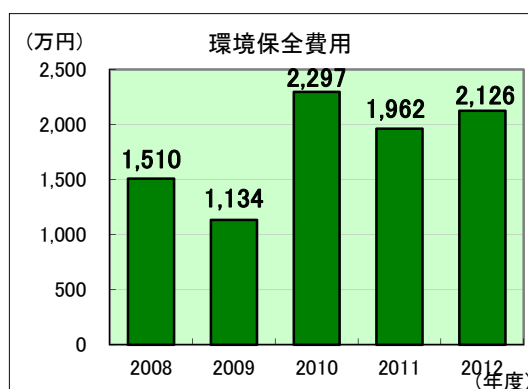
継手東工場の冷却機を更新し、エネルギーの効率改善を行いました。



② 環境保全費用

2012年度： 2126 万円

集塵フィルターの交換、ピット内の水漏れ対策を行い、省エネを推進しました。



③ 環境保全効果

- 生産量増加により、エネルギー使用量、CO₂排出量は前年度と比べ増加しました。
- 排水クローズ化や節水活動により水使用量を削減しました。

効果の内容	効果	2011年度	2012年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	284,714	307,068	22,354	107.9 %
	水使用量(m ³)	61,360	37,841	▲ 23,519	61.7 %
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	11,088	14,700	3,612	132.6 %
	SO _x 排出量(t)	0	0	0	-
	NO _x 排出量(t)	0	0	0	-
	ばいじん排出量(t)	0	0	0	-
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	0.1542	0.1296	▲ 0.025	84.0 %
	廃棄物排出量(t)	57.9	83.1	25.2	143.5 %
廃棄物埋立量(t)	0.21	1.00	0.8	481.8 %	

④ 経済効果

2012年度： 481 万円

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	冷却水送水ポンプ及び押出機モーターのインバータ化 ほか	224 万円
ゼロ・エミッション化対策	有価物売却金額	257 万円
合計		481 万円

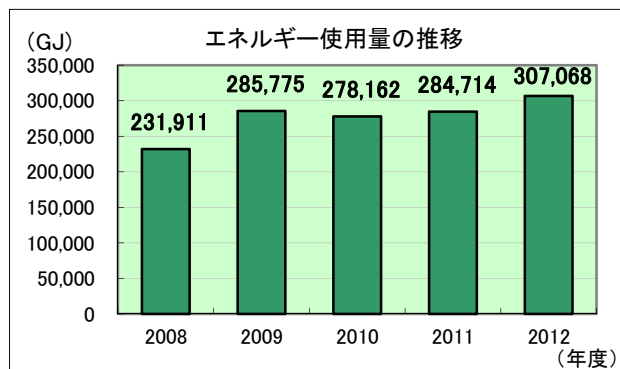
クボタシーアイ株式会社 小田原工場

7 環境パフォーマンス

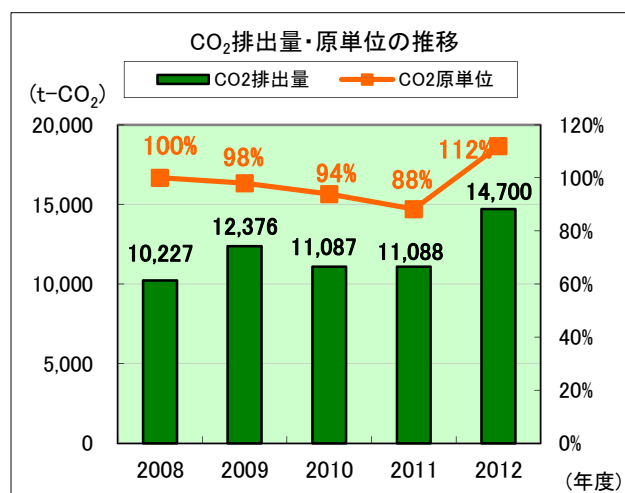
① 地球温暖化の防止

省エネルギー活動

- 省エネ対策を継続していますが、2012年度は生産量が大幅に増加したことにより、エネルギー使用量は前年比で7.9%増加しました。

CO₂排出量の削減

- 上記の通りエネルギー使用量が増加したことに加え、電力会社の発電方式が火力発電主体に変化したことによりCO₂排出係数が24%悪化したため、CO₂排出量が前年比で33%増加しました。



※ CO₂原単位: 2008年度の生産金額ベースのCO₂原単位を100とした場合の割合

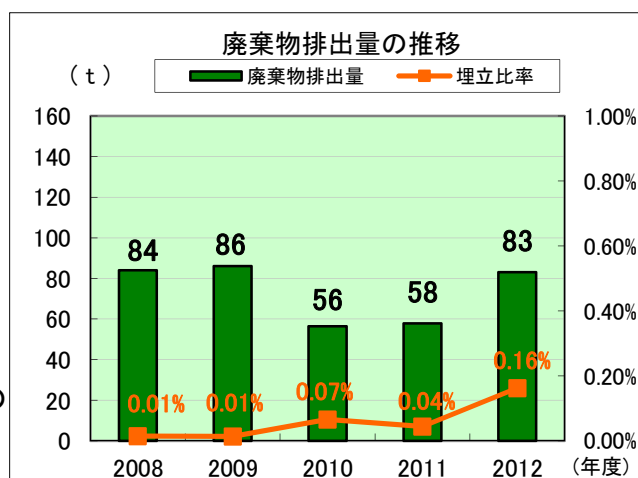
② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

- 廃棄物排出量は前年比44%増加しました。日常的に発生する廃棄物排出量は減少しましたが、設備メンテナンスに伴う汚泥廃棄量が例年に比べて大幅に増加しました。

ゼロ・エミッション化

- ゼロ・エミッション(埋立比率: 0.5%以下)の達成を継続しています。



※ 埋立比率 (%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

③ 有害化学物質の削減

PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
239	有機スズ化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9 Kg
305	鉛化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	121 Kg

8 環境コミュニケーション

① 地域美化活動

名 称 「クリーンさかわ(※)」
での酒匂川清掃

※主催:小田原市自治会総連合

後援:小田原市

日 付 平成25年5月19日

参加人数 11名



「クリーンさかわ」にて

名 称 工場周辺公道の清掃

日 付 平成25年6月27日

参加人数 43名



工場南側公道の清掃

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

9 サイトデータ

▶ INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	7,922			
水使用量	万m ³	上水	3.77	合計	3.78
		地下水	0.01		

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	14,700
---------------------	-------------------	--------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		-		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
	SO _x	総量規制・K値 規制ともにm ³ N/h	ばい煙発生施設なし		
	NO _x	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm			
ばいじん	g/m ³ N				

排水量	公共用水域 万m ³	0.00	
	下水道 万m ³	0.70	
汚濁負荷量	COD	kg/年	-
	窒素	kg/年	-
	りん	kg/年	-

排水	放流先	項目	単位	C排水口		D排水口	
				規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値,最大値	5.8~8.6	8.2~8.3	5.8~8.6	7.3,~8.3
		BOD	mg/l	60	1.0未満	60	1.4
		COD	mg/l	60	1.0未満	60	1.5
		窒素	mg/l	120	0.4	120	0.5
		りん	mg/l	16	0.1	16	0.06未満
		六価クロム	mg/l	0.5	0.05未満	0.5	-
		鉛	mg/l	0.1	0.01未満	0.1	0.01未満
		COD総量規制値	kg/日	-	-	-	-
		窒素総量規制値	kg/日	-	-	-	-
		りん総量規制値	kg/日	-	-	-	-
下水道		pH	-	-	-	-	
		BOD	mg/l	-	-	-	
		COD	mg/l	-	-	-	
		SS	mg/l	-	-	-	

※C排水口測定値はケイミュー(株)測定分

廃棄物排出量	t	83.1
埋立比率	%	0.16%